

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

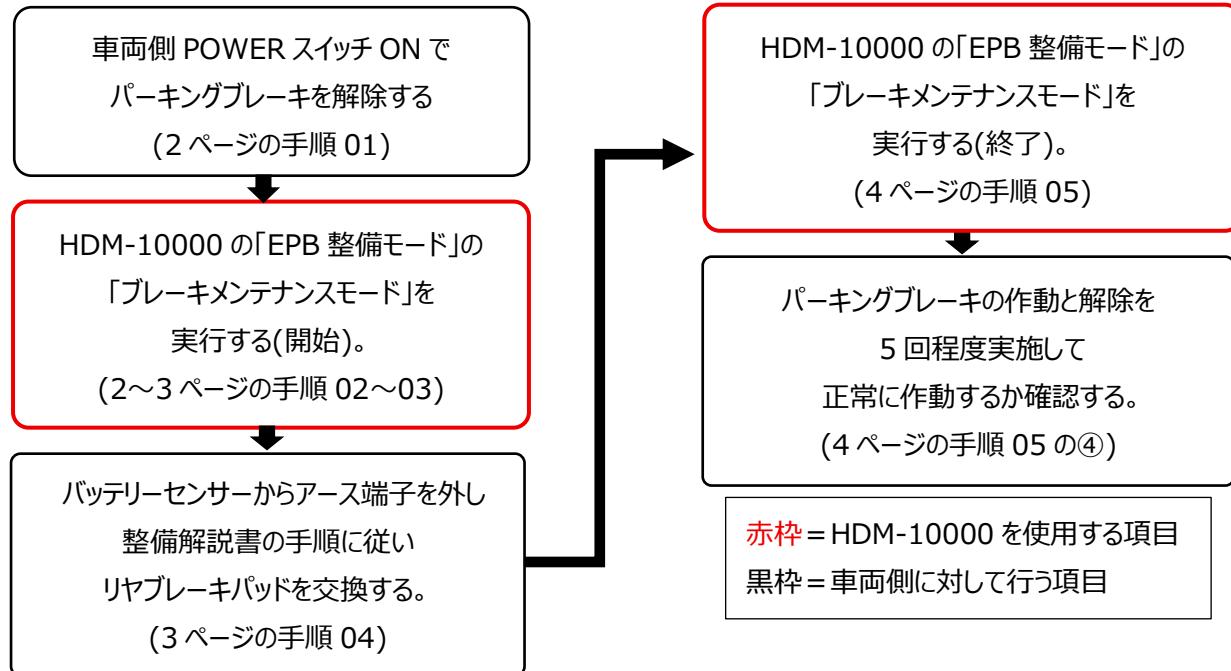
スバル/EPB 整備モードの活用によるリヤブレーキパッド交換 (インプレッサ/GT3での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1. EPB 整備モードについて

- 電動パーキングブレーキを採用しているスバル車ではリヤブレーキパッドの交換を行う際、スキヤンツールの作業サポート「ブレーキメンテナンスモード」を使用します。
- HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」にある「EPB 整備モード」を選択すると「ブレーキメンテナンスモード」に直接アクセスでき、通常のスバル診断ソフト ⇒ 作業サポート選択 ⇒ システム選択 ⇒ 機能の選択の操作を省略することができます。
- 本書ではインプレッサ(GT3/イグニッシュンスイッチタイプ)での操作例を紹介します。
- インプレッサで「EPB 整備モード」を使用した電動パーキングブレーキのリヤブレーキパッド交換の手順は以下となります。

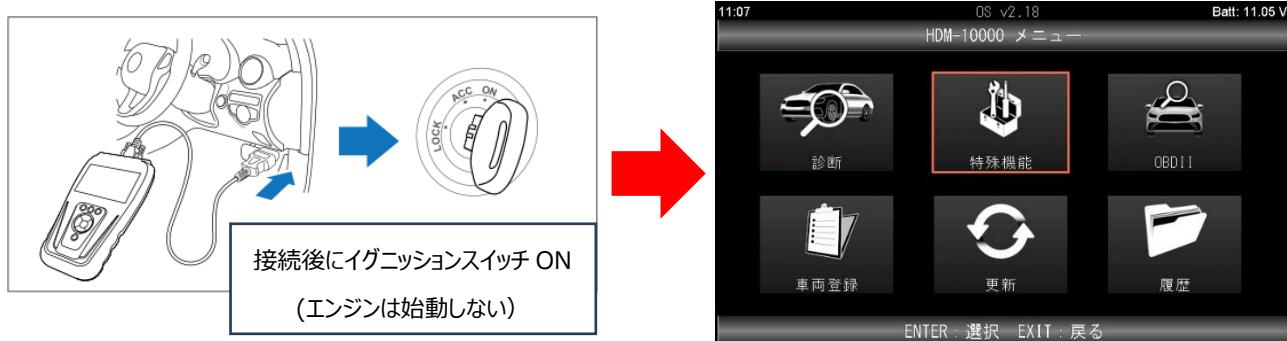


(次ページに続きます)

2.HDM-10000 用スバル診断ソフトの「EPB 整備モード」の操作手順

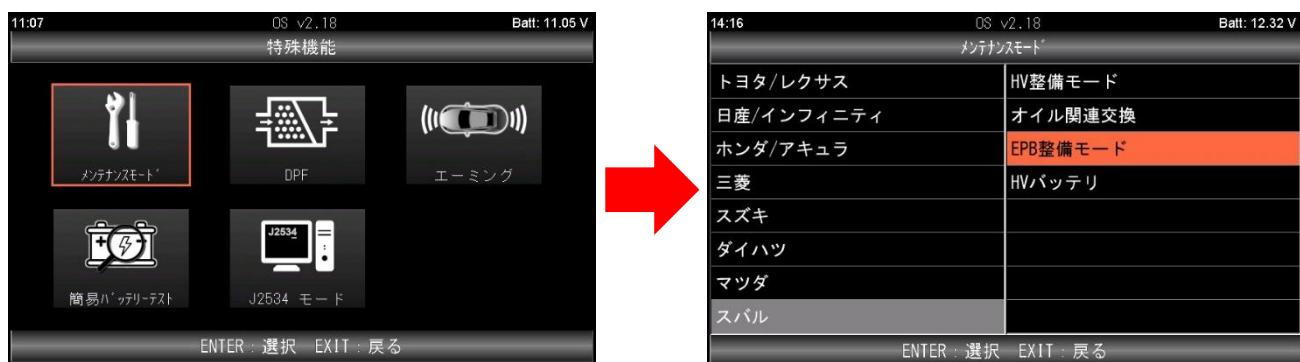
【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクターに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側イグニッションスイッチを ON にして、電動パーキングブレーキを解除してください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。

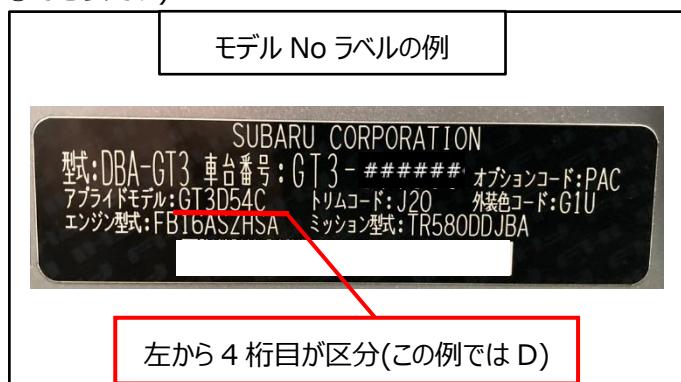
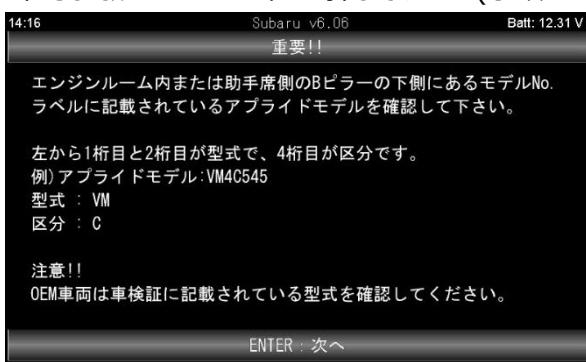


【手順 02:メンテナンスマード⇒EPB 整備モード⇒アプライドモデルの確認まで】

- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスマード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスマードの画面が表示されたら「スバル」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。



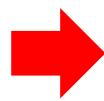
- ②「しばらくお待ちください」のメッセージが表示されたあとアプライドモデルの解説画面が表示されます。解説を参照のうえ、車両に貼り付けられているモデル No ラベル内に記載されているアプライドモデルの 4 行目の区分のアルファベットを確認してから ENTER キーを押してください(手順 03 の①で必要です)。



(次ページに続きます)

【手順 03:EPB 整備モード/ブレーキメンテナンスモード(開始)の実行】

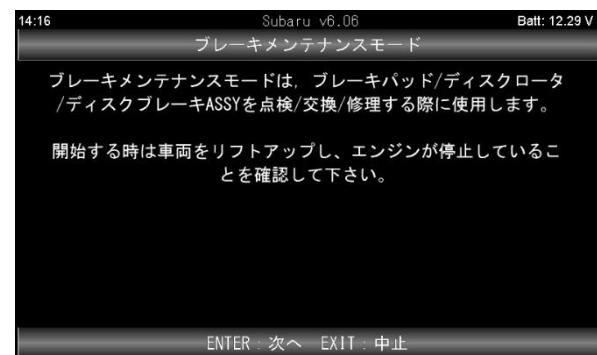
①「車名」の選択画面で該当する車両名を選択して ENTER キーを押してください。次に「車型」の画面が表示されます。該当する車型と手順 02 の②で確認した区分の組み合わせを選択して ENTER キーを押してください。



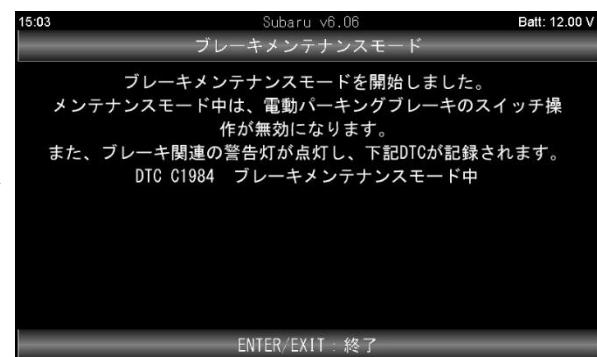
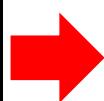
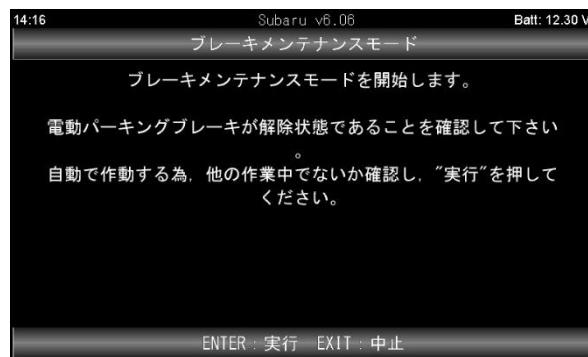
②「システム確認中しばらくお待ちください」のメッセージが表示されたあと「ブレーキコントロール」の画面が表示されます。「ブレーキメンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。



③右の画面が表示されます。表示内容を確認したら ENTER キーを押してください。



④「ブレーキメンテナンスモードを開始します」のメッセージが表示されたら表示内容を確認して ENTER キーを押してください。「しばらくお待ちください」の表示のあと「ブレーキメンテナンスモードを開始しました。」が表示されます。



【手順 04:リヤブレーキパッド交換の実施】

①車両側のバッテリーセンサーからアースを取り外してください。
②整備解説書に記載の作業手順に従いリヤブレーキパッド交換、バッテリーセンサーのアース取り付けを行ってください。

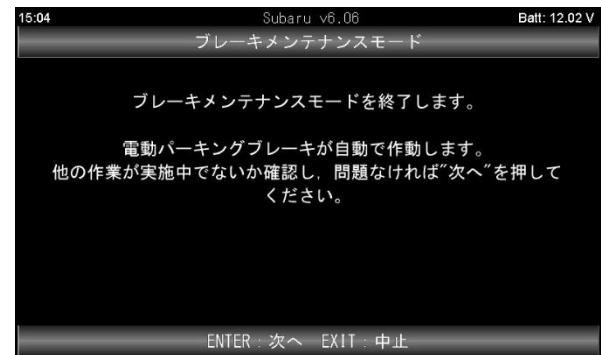
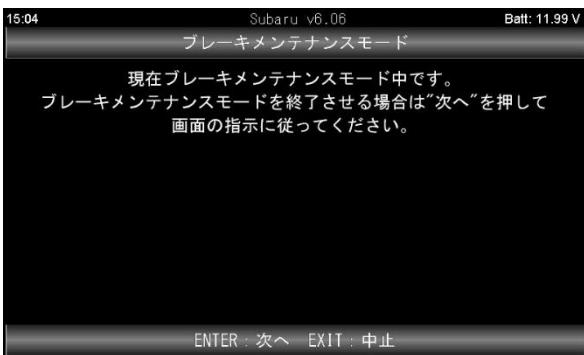
(次ページに続きます)

【手順 05:EPB 整備モード/ブレーキメンテナンスモード(終了)の実行】

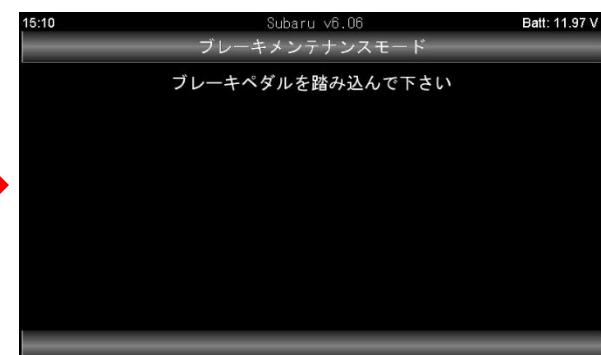
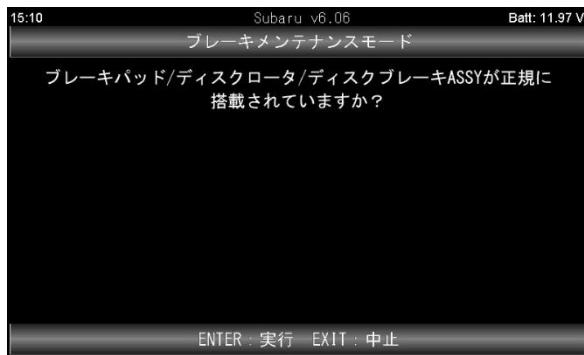
①車両側のバッテリーセンサーのアース取り外しなどにより HDM-10000 が再起動し HDM-10000 メニューが表示されている場合は「特殊機能」を選択して ENTER キーを押し、2 ページの手順 02 から 3 ページの手順 03 の②までを行ってください。



②「現在ブレーキメンテナンスモード中です。」が表示されます。表示内容を確認したら ENTER キーを押してください。次に「ブレーキメンテナンスモードを終了します。」が表示されたら表示内容を確認して ENTER キーを押してください。



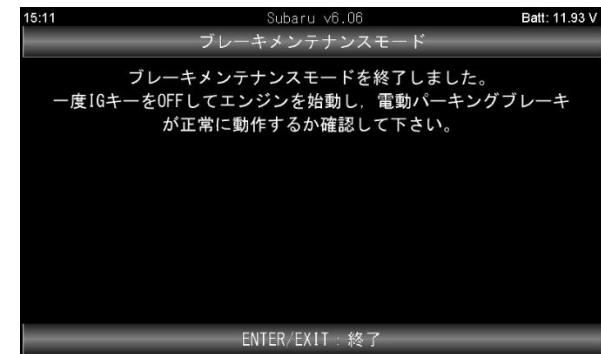
③ブレーキパッドの搭載状態を確認するメッセージが表示されたら表示内容を確認して ENTER キーを押してください。次に「ブレーキペダルを踏みこんでください」のメッセージが表示されたら強くブレーキペダルを踏みこんでください。



④車両側のアクチュエーターの作動によりブレーキペダルが戻りますので踏み込みを続けてください。

「しばらくお待ちください」の表示のあと右の画面の表示にしたがい電動パーキングブレーキの動作を確認してください。
(作動と解除を 5 回程度実施してください)

※「ブレーキ圧力が検知できませんでした」と表示される場合は再度ブレーキメンテナンスモードを実行してください。



(2026.01.30 発行)